

溪和会江別病院 令和7年度病院指標

7. その他(播種性血管内凝固、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

<定義>

- ・最も医療資源を投入した傷病名が入院の原因となった傷病名と同一の場合と異なる場合で症例数、発生率を集計しています。
- ・該当患者数が10名未満の場合は「-」にて表記しています。
- ・発生率については、それぞれの症例数/全退院患者数としています。

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	10	0.29%
180035	その他の真菌症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置の合併症	同一	10	0.29%
		異なる	-	-

<解説>

播種性血管内凝固(症候群)は、基礎疾患が悪化して全身の血管に血栓が無数に生じる病態です。細い血管が詰まり、血流が妨げられて酸素や栄養が組織に届かなくなり多臓器不全を起こし、生命に重大な危険をもたらします。

敗血症とは、感染症を起こしている部位から全身・血液内に細菌感染が拡大し、重篤な全身症状を引き起こす疾患です。

真菌症とは、真菌類(カビ)によって引き起こされる疾患で、感染症によって体の免疫力が低下することによりかかりやすくなる疾患です。

手術・処置の合併症の内訳は、主に術後や処置後の出血、総部の感染などが挙げられます。合併症はどのような術式、どのような患者さんでも一定の確率で起こり得るものであり、医療ミスとは異なります。

合併症を生じた際には適切な治療を行っています。